

地域支援だより



令和5年3月15日(水) 発行
北海道教育大学附属特別支援学校
地域支援部

卒業おめでとう！ 中・高の学習を体験

2月13日(月)に、小中学部を卒業する児童生徒を対象とした、「中学部・高等部体験」を実施し、中学部には小学部6年生の児童が3名、高等部には中学部3年生の生徒が6名、それぞれの学部を体験しました。

小学部の中学部体験では、朝の体づくりやチャレンジ学習などの中学部の授業を体験し、朝の会や休み時間はそれぞれの学級の中で過ごすなど、中学部の雰囲気存分に味わいました。作業学習ではリサイクル班の作業に参加し、牛乳パックを開く作業や、ジグを使って線を引く作業に取り組みました。



中学部の高等部体験では、それぞれの興味関心に合わせて選択した、アート、スポーツ、ミュージックの授業に参加したり、木工、陶芸、縫工の作業学習に参加したりしました。特に作業学習では、中学部での作業学習とは違う難しさや達成感を体験することができました。

今回の体験をきっかけに、進学先の学部の生活に期待感を抱きながら、4月からの生活をスタートさせてほしいと思っています。

PTA 学習会が開催されました

2月8日(水)にPTA研修部主催による「卒業生保護者との懇話会」が開催されました。懇話会では、本校高等部卒業生の保護者、北村妙子様に来校していただき、息子さんの本校在籍時の話や現在の生活についてのお話をいただきました。参加した保護者の皆さんより質問があった内容とその返答についていくつか紹介します。

○高等部のうちにやっておいた方がよいことはありますか？

→放課後等デイサービスを利用しておいた方がよいと思います。また、将来グループホームの利用を考えているのであれば、日常生活に関する力を少しずつ身につけておくとうよいと思います。

○家庭でのお手伝いは行っていましたか？

→本人のできる活動の中で設定していました。範囲を決めて掃除や食器の後片付けをしたりしていました。可能なところからでよいので、継続して行っていけると将来につながるのではないかと思います。

○仕事の無い日はどのように過ごしていますか？

→職場で行っている月に数回あるクラブ活動に参加したり、スペシャルオリンピックスの活動に参加したりしています。自宅では、好きな動画を観たり、絵を描いたりして、本人の好きな活動を行っています。

高等部卒業後の生活を見据えたご家庭での取り組みに感心するとともに、目標や目的を学校も含めた関係機関と共有しながら進めていく大切さを改めて実感させられました。実際の卒業生の保護者の方からの経験談ということで、参加した保護者の皆さんも興味深く話を聞く様子が見られました。

本校卒業生が受賞しました！

2022年12月に開催された「ポコアート全国公募展 vol.10」で、本校卒業生の佐久間智之さんがオーディエンス賞を受賞しました。在学中に全附P連絵画コンクールに出展したのをきっかけに、卒業後も作品制作を続け、今回で3度目の入賞になるそうです。平日は仕事があるため、作品制作の時間がもっと欲しいと話していました。学校での学習活動が卒業後の余暇につながり、充実した生活を送っている様子を聞いてとても嬉しく思いました。仕事や趣味など、自分自身を表現する場や方法は多様です。今後も卒業生の近況報告を楽しみにしています。